

令和6年度事業報告

長野県看護大学同窓会 鈴風会

【令和6年度基本方針】

1. 会員同士のネットワーク強化
2. 同窓会活動の充実

【活動内容】

1. 会員同士のネットワーク強化に関すること

◎ホームページの活用

- ・ 活動の様子を伝えることで、同窓会に関心を持つ会員が増え、鈴風会の活動への参加者が増加すること目指し、ホームページによる情報発信を継続する。
- ・ ホームページをさらに活用する方法を引き続き検討する。

⇒卒業生の現状について原稿を依頼中。卒業生3名に原稿依頼を行った。現在依頼が済んでいる卒業生は卒後5年以内の方であるため、執行部メンバーに対して卒業後5年程度以上経過した卒業生への原稿依頼中。来年度には掲載予定。

◎会員の参加しやすい形の検討

- ・ 同窓会活動に関する意見募集の活性化や、同窓会活動への参加者の増加、速やかな登録情報変更のため、会員へのホームページの周知を引き続き推進する。
- ・ 同窓会集会の他、会員の情報交換の場となる企画や方法を検討する。

⇒昨年に引き続き、会員や準会員、在学生への配布物にはホームページのURLとQRコードを載せることで、登録情報変更手続きへのアクセスの簡便化を図った。また、第27回鈴風祭で開催されたホームカミングデーにて、参加した会員への現住所の確認を実施した。未入会および住所不明者の卒業生については、今後も、学際企画や同窓会ホームページ上で入会・登録変更の案内を継続していく。

◎学園祭での同窓会活動の発信

- ・ 在学生への鈴風会の活動のPRのため、引き続き学園祭パンフレットへの広告の掲載および展示ブースへの出展を行う

⇒“卒業生と話してみよう”をテーマに出展し、90分と限られた時間ではあったが、20名の来場者があり、参加者および担当者の反応は良好であった。また、パンフレットへの広告を掲出した。

2. 同窓会活動の充実に関すること

◎入会者増加のための検討

- ・ 在学期間中に入会案内方法の検討をすすめ、入会者の増加を進める。
- ・ 入学時の加入率の拡大を図る方法を検討する。
- ・ 昨年度から開始した鈴風チケット（当大学の生協のみで利用できる金券）の配布を継続する。

⇒今年度は学部全学年の準会員に対して鈴風チケットの配布を行い、配布開始のアナウンス後と配布期間中に3名の新規入会があった。来年度の学部2・3・4年生の準会員への鈴風チケットの配布については、同窓会パーティのような交流会を開催するか否かに応じて会員交流費から捻出することを検討する。在学期間中および卒業後の入会促進方法は引き続き検討課題である。

◎活動内容の検討

- ・ 現行の卒業式予行演習時の総会開催は入会・未入会の選り分けが必要であり、総会の開催時期や方法の検討を進める。

⇒鈴風会ホームページにて議案を掲載し、質問意見を受ける形式を継続。来年度以降の開催時期や方法については、状況をみながら検討する必要がある。

- ・ 会員数増加による通知等の準備作業の増大に対する効率化や作業委託等について検討する。

⇒一昨年度から引き続き、配布物の準備作業を伊那市社会福祉協議会の多機能型事業所コスモスの家に作業委託した。業務負担の軽減に加え、社会貢献の兼ね合いから今後も利用していく。

◎同窓会活動に関する意見募集

- ・ 同窓会活動の充実を図るため、通知やホームページなどを通して、同窓会活動に対する会員の意見を募集する機会を引き続き設ける。

◎会員サービスの検討及び実施

- ・ できるだけ多くの会員の参加が得られるよう、同窓会パーティーを企画・開催する。もしくは5類に移行はしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から別の企画を検討する。

⇒「ホームカミングデイ」において、新規会員の入会促進および母校への還元としてお菓子や飲み物などを用意した。当日入会手続きができるブースを作り、参加者に対して同窓会パーティーに関するアンケートを実施。そのアンケート結果をもとに、今後の同窓会パーティーの開催について執行部会で検討中。

- ・ 卒業・修了時の会員への記念品贈呈を継続する。

⇒令和6年度卒業生に卒業式・修了式の際に記念品を贈呈予定である。

◎母校との連携

- ・ 大学からの本会に対する要請に柔軟に対応する。
- ・ 母校の発展に寄与できるよう、大学側の意向も踏まえながら大学への貢献事業を行う。

⇒引き続き、大学の要請、意向を踏まえながら貢献事業を継続していく。